

発行日 平成30年 3月26日
(平成30年4月11日 訂正)

Nougyou Nouson

いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしく願います。

石巻合同庁舎が移転しました

東部地方振興事務所農業農村整備部は、新石巻合同庁舎の完成に伴い、平成30年3月5日から新庁舎での業務を開始しました。これに伴い、所在地は下記のとおりとなりました。

東部地方振興事務所農業農村整備部 移転先について

■新石巻合同庁舎 所在地

宮城県石巻市蛇田字新沼田12番地4街区1画地
(新蛇田南第二地区被災市街地復興土地地区画整理事業地内)

※農業農村整備部は、新庁舎の4階北側となります。

新庁舎への交通アクセス

■JR線利用の場合

JR仙石線「石巻あゆみ野駅」から北へ約700m
(徒歩で約7分)

■車利用の場合

(三陸自動車道経由)
「石巻港IC」から東へ約1km(車で約3分)



第39号の目次:

| | |
|-----------------------------|---|
| 石巻合同庁舎の移転 | 1 |
| 第3回農地集積戦略会議 | 2 |
| 平成29年度奥松島地域営農再開実証プロジェクト報告会 | |
| 石巻市北限オリーブ研究会 平成29年度の活動実績 | 3 |
| 東部管内の農地・農業用施設等の復旧・復興の進捗 | 4 |

平成29年度第3回農地集積戦略会議

平成29年3月6日から3月8日にかけて、第3回農地集積戦略会議を開催しました。

この戦略会議は、県、市、土地改良区など管内の関係機関が一堂に会し、農地整備事業に取り組む13地区について、農地集積目標の達成に向けた課題の検討をする場となっています。

今回は、平成29年度の集積面積実績及び活動結果、さらには平成30年度に向けた課題の整理を行いました。

また、担い手が法人化を計画している地区については、法人化の時期や構成員数、次年度の作付計画などの情報を確認しました。

聞き取った内容は、今後の農地集積推進活動に役立てていきます。



▲奥松島地区 戦略会議
(平成30年3月6日)



▲西矢本地区 戦略会議
(平成30年3月6日)



▲鹿又地区 戦略会議
(平成30年3月7日)

平成29年度奥松島地域 営農再開実証プロジェクト報告会の開催

平成30年3月14日、東松島市役所鳴瀬庁舎で「平成29年度奥松島地域営農再開実証プロジェクト報告会」が開催され、県、市、JAいしのまき、地域農業者など約15名が出席しました。今回の報告会では、関係機関及び地元農業者が今年度の事業実績を報告しました。

平成29年春、農地復旧が完了した東浦工区と宮戸8分区で営農再開し、奥松島地域の営農再開面積は約87haとなりました。新たに作付を開始したほ場では水稻生育が旺盛で、塩害も生じませんでした。また、奥松島果樹生産組合「いちじくの里」が担い手となっている宮戸6分区では、植栽したイチジク及びモモが初収穫を迎えました。

さらに、新たな取組として、洲崎・東名工区における土地利用の整序化について報告がありました。農地整備事業の区域184.4haに移転元地等14.5haを地区編入し、そのうち農地4.5haは県が農地整備事業により、市有地6.9haは市が防災集団移転促進事業の効果促進事業によりそれぞれ畑地造成を行い、農業法人が営農する計画としています。

報告会には担い手である「奥松島グリーンファーム」と「宮戸干拓生産組合」も出席し、今年度の作付面積や収量についてそれぞれ報告しました。その後、参加者が今後の営農について意見交換を行い、各法人が抱える課題及び対策を共有しました。

このプロジェクトは、ほ場整備事業の完了予定年度である平成32年度まで継続する予定です。また、平成30年春に、農地復旧が完了した宮戸9分区で果樹の植栽が計画されています。



▲報告会の様子

平成29年度 石巻市北限オリーブ研究会の活動実績

石巻市は、平成26年度からオリーブの実証栽培を行っています。平成29年1月、取組のさらなる推進に向けて産官学連携による「石巻市北限オリーブ研究会」を設立し、「北限のオリーブ」を市の地域ブランド品として育成する取組を推進しています。農業農村整備部も、この研究会の構成員として農業・農村の地域ビジョン作成などを支援します。

平成29年度は、春に北上地区及び雄勝地区で計360本のオリーブ苗を定植したほか、前年度までに定植した河北地区及び牡鹿地区を加えた全4地区のほ場で定期的に生育管理を実施しました。また11月には果実の本格的な収穫を迎え、オリーブオイルの搾油も行いました。

平成29年12月20日 オリーブ栽培技術・生産部会

平成29年12月20日、石巻市役所で「オリーブ栽培技術・生産部会」が開催され、関係機関職員など約20名が出席しました。部会では、今年搾油したオリーブオイルの分析結果や平成29年度の生育管理状況などの報告がありました。

今年度は200ccのオイルが搾油され、成分分析では国際オリーブ協会が示す規格の各基準値をクリアする結果となりました。オイルを試飲した出席者からは、「市販のオリーブオイルと比べ、見た目は緑味が強く、シャープな風味。」との評判でした。

また、当研究会の荒井顧問（香川県のオリーブ生産会社代表）は、今年度の管理指導結果を踏まえ「オリーブの生育は天候不順の影響を受ける。多くの実を収穫するためには、苗木本数を増やすのがよい。それにより、天候の影響を受けて個々の樹木の開花時期にばらつきが出る場合でも受粉・結実しやすくなる。また、病害虫被害を防止するため、除草作業をしっかりと行うことが重要。」と助言しました。

今後、栽培面積のさらなる拡大が計画されています。平成30年春には、拡大したほ場に約1,000本の苗を定植する予定です。



▲ 北上地区のほ場の様子
(平成29年12月21日)



▲ 雄勝地区のほ場における
管理指導の様子
(平成29年12月21日)

平成29年12月21日 生育に関する管理指導

平成29年12月21日、市内のオリーブ定植地3地区で生育に関する管理指導が行われ、石巻市をはじめとする関係者約15名が参加しました。この日は、平成28年4月に定植した河北地区の苗木20本と、平成29年4月に定植した北上地区の苗木250本及び雄勝地区の苗木110本について、生育状況を確認しました。

参加者は、オリーブの樹木1本1本を見て回り、荒井顧問から苗の管理や剪定作業の方法について説明を受けました。荒井顧問は、「3地区とも順調に生育している。今後も雑草対策などの管理を継続し、強く大きい木を育ててほしい。」と笑顔で話していました。今回の管理指導を受けて、栽培を担う地元農家の方々は今後の栽培・生産への意欲を高めたようです。



▲ 河北地区のほ場の様子
(平成29年12月21日)

東部管内の農地・農業用施設等の復旧・復興の進捗

宮城県では、東日本大震災に係る農地・農業用施設等の復旧・復興のロードマップを見直し、平成30年3月14日に新たなロードマップを公表しました。うち、東部管内については以下のとおりです。

復旧の行程と進捗状況

宮城県が平成30年3月14日に発表した「農地・農業用施設等の復旧・復興のロードマップ」では、地元の合意形成や関係機関との調整等の対応により工事の着手及び完了目標を見直しており、東部管内では、下記のとおり、農地海岸の復旧完了年度を平成30年度、農地・農業用施設の復旧完了目標を平成31年度とする計画としています。

管内の農地で復旧対策が必要な全体面積は3,480haであり、平成30年3月末までに3,430haで復旧工事に着手し、着手率は約99%となる見込みです。復旧工事に着手した面積のうち、3,270haで工事が完成し、完了率は約94%となる見込みです。

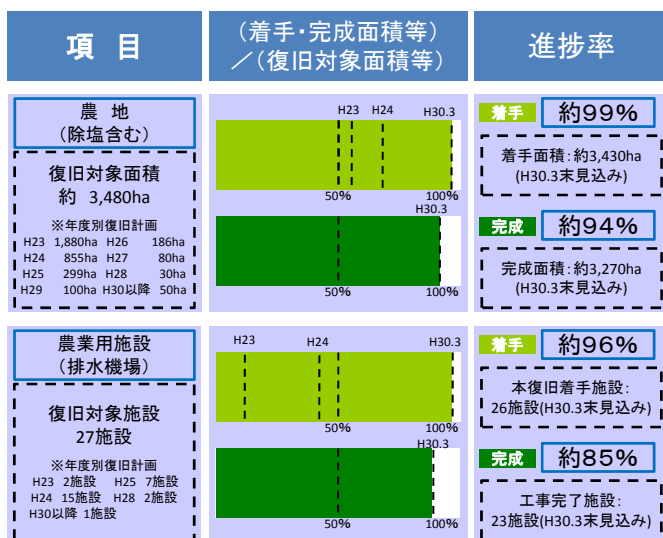
また、震災による津波で被害を受けた農業用施設（排水機場）は27施設で、平成30年3月末までにそのうちの26施設で着手し、着手率は約96%となっています。復旧工事に着手した施設のうち、23施設で工事が完成し、完了率は約85%となっています。なお、応急復旧により、従前と比較し、約9割の排水能力を回復しています。

■管内の災害復旧・復興のロードマップ

| 工種 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| ■農地(除塩含む)※1 | 着手 | | | | | | | | |
| 面積:3,480ha | 1,880ha | 855ha | 299ha | 186ha | 80ha | 30ha | 100ha | 50ha | |
| 進捗% | 54% | 79% | 87% | 93% | 95% | 96% | 98% | 100% | |
| ■農地(除塩含む)※1 | 完成 | | | | | | | | |
| 面積:3,480ha | 1,880ha | 354ha | 492ha | 110ha | 319ha | 70ha | 45ha | 180ha | 30ha |
| 進捗% | 54% | 64% | 78% | 81% | 91% | 93% | 94% | 99% | 100% |
| ■農業用施設 ※2 | 着手 | | | | | | | | |
| 排水機場:27施設 | 2施設 | 15施設 | 7施設 | 0施設 | 0施設 | 2施設 | 0施設 | 1施設 | |
| 進捗% | 7% | 63% | 89% | 89% | 89% | 96% | 96% | 100% | |
| ■農業用施設 ※2 | 完成 | | | | | | | | |
| 排水機場:27施設 | 2施設 | 2施設 | 12施設 | 7施設 | 0施設 | 0施設 | 0施設 | 2施設 | 2施設 |
| 進捗% | 7% | 15% | 59% | 85% | 85% | 85% | 85% | 93% | 100% |
| ■農地海岸 | 着手 | | | | | | | | |
| 農地海岸:23箇所 | 0箇所 | 16箇所 | 6箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 1箇所 | |
| 進捗% | 0% | 70% | 96% | 96% | 96% | 96% | 96% | 100% | |
| ■農地海岸 | 完成 | | | | | | | | |
| 農地海岸:23箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 3箇所 | 4箇所 | 2箇所 | 0箇所 | 14箇所 | |
| 進捗% | 0% | 0% | 0% | 13% | 30% | 39% | 39% | 100% | |

■管内の主な事業の進捗状況

平成30年3月末(見込)



本資料は、県が公表した「東日本大震災に係る農地・農業用施設等の復旧復興のロードマップ見直しについて(H30.3.14)」のうち、東部管内分を表記している。

※1 農地復旧面積には自力復旧、復興事業による転用などの面積を含む。

※2 農業用施設については受益面積10ha以上の排水機場とし、国が直轄で行う2地区(河南地区、定川地区)を除く。

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

(編集: 農村振興班)

一日も早い災害復旧と
地域復興をめざして

〒986-0861 石巻市蛇田字新沼田12番地4街区1画地

Tel 0225(95)1411 (内) 2631 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/